家庭ごみの有料化について

1 審議会における検討経緯

平成 12 年 10 月

【ごみの減量・リサイクルに関する提言】

苫小牧市廃棄物減量等推進審議会

「将来的な家庭ごみの有料化を検討する必要がある」

平成 19 年 3 月

【答申書 家庭ごみの減量化施策とその具体的方策について】

苫小牧市廃棄物減量等推進審議会

「有料化はごみ減量化に有効な方策であるとともに、費用 負担の公平性も図ることができるが、新たな市民負担を伴 うことから、それ以前にごみ減量化とリサイクルの推進に 取り組むべき」

平成 22 年 9 月

● 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会に対して、

「家庭ごみの有料化について」を諮問

平成 22 年 9 月

● 苫小牧廃棄物減量等推進審議会 4回開催

平成 22 年 12 月

平成 22 年 12 月

● 「答申書 家庭ごみの有料化について」起草委員会 2回開催

平成 23 年 1 月

平成 23 年 2 月

平成 23 年 3 月

● 苫小牧廃棄物減量等推進審議会 2回開催

平成 23 年 3 月

● 苫小牧廃棄物減量等推進審議会より、

「家庭ごみの有料化について」を答申

「家庭ごみを有料化し、大幅なごみ減量を目指すべき」

付带要望

- ① 家庭ごみ有料化は大幅なごみ減量のための施策の一つであ り、唯一の手段ではないため、様々なごみ減量・リサイクル 推進方策を一体的に実施すること。
- ② 市民理解が得られるよう、十分に周知・啓発を行うこと。